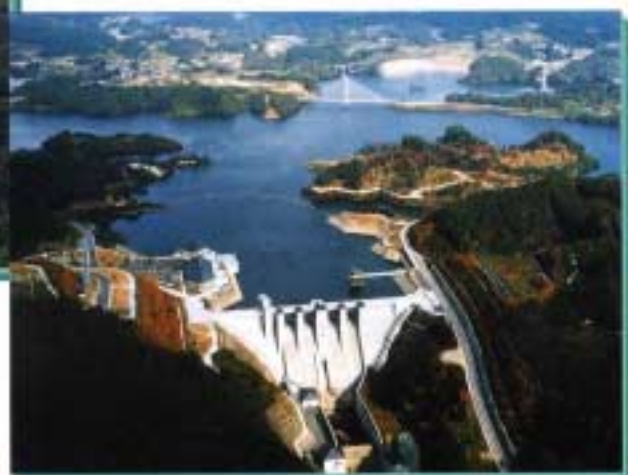


平成14年7月9日～11日洪水（台風6号）
三春ダムの洪水調節



三春ダム（洪水時）7月11日朝



三春ダム（平常時）



阿久津橋付近（郡山市）



阿武隈川安達橋下流右岸浸水状況（本宮町）



二本松水位観測所付近の国道4号（二本松市）



概要

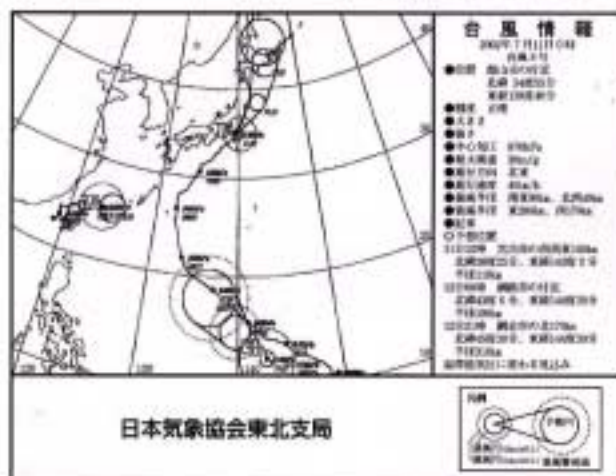
台風6号の影響で梅雨前線が活性化したことにより、三春ダム上流域では7月10日早朝から降り始めた雨は10日の昼過ぎから強くなり、時間雨量10mmを越える大雨となりました。10日夜遅くから翌11日未明にかけては台風6号本体による降雨のため、各地で時間雨量20mmを越える激しい雨となり、三春ダム上流域の流域平均雨量は184mmを観測するなど、各地において記録的な大雨となりました。

阿武隈川の各観測所は全観測所で警戒水位を大きく上回り、本宮水位観測所、二本松水位観測所においては、戦後第1位の水位を記録しました。

この出水に伴い郡山市、本宮町をはじめとする各市町村において、避難勧告(714世帯)、避難指示(27,698世帯)が出されました。

また、県内の一般被害状況においても負傷者3名、全壊1棟、一部破損4棟、床上浸水404棟、床下浸水716棟と平成10年8月洪水に比べ被害が減少していますが、甚大な被害状況となっています。

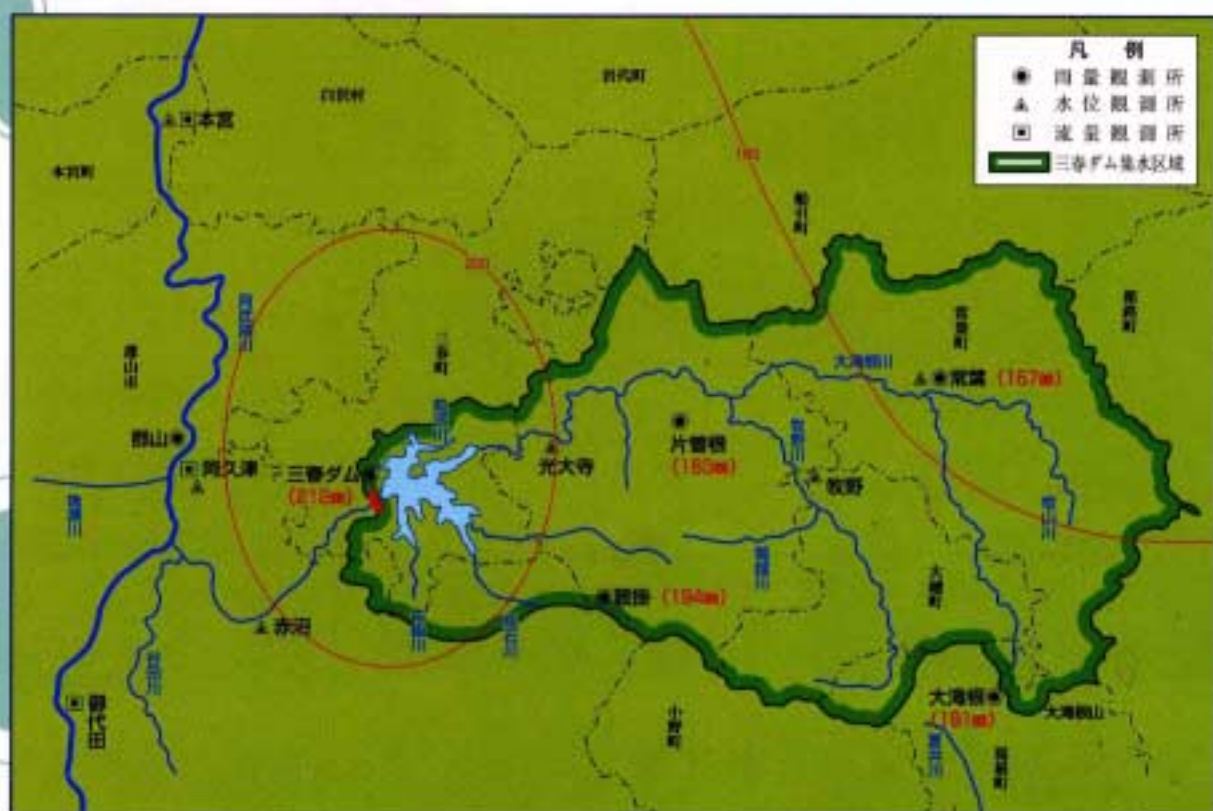
※二本松観測所は、昭和54年から観測開始。



降雨状況

		単位 (mm)					
時刻	時刻	大滝橋	安業	片磐橋	観野	三春ダム	流域平均
02/7/9	13	0	0	0	0	0	0.0
	14	0	0	0	0	0	0.0
	15	0	0	0	1	0	0.2
	16	3	1	0	0	0	0.9
	17	10	0	8	0	0	3.7
	18	2	0	0	1	0	0.5
	19	0	0	0	0	2	0.2
	20	0	0	0	0	0	0.0
	21	0	0	0	0	0	0.0
	22	0	0	0	0	0	0.0
	23	0	0	0	0	0	0.0
	24	0	0	0	0	1	0.1
02/7/10	1	0	0	0	0	0	0.0
	2	0	0	0	0	0	0.0
	3	0	0	0	0	0	0.0
	4	0	0	0	0	0	0.0
	5	0	0	0	1	0	0.2
	6	3	2	3	3	3	2.7
	7	2	3	4	3	10	4.5
	8	1	0	3	1	1	1.1
	9	1	0	2	2	1	1.1
	10	0	1	0	0	1	0.4
	11	1	2	2	2	2	1.8
	12	3	2	2	3	3	2.4
	13	13	12	13	16	12	13.0
	14	8	9	10	9	7	8.8
	15	9	8	15	13	7	10.6
	16	3	8	7	10	5	6.9
	17	1	7	5	6	3	4.9
	18	4	3	3	4	5	3.8
	19	3	2	4	4	7	3.5
	20	24	18	2	2	3	11.5
	21	7	8	5	6	4	6.4
	22	5	5	8	10	15	7.6
	23	11	9	12	15	21	12.2
	24	4	2	8	7	15	6.1
02/7/11	1	5	4	6	9	7	6.3
	2	22	18	21	22	18	19.4
	3	18	20	18	20	14	18.6
	4	17	14	9	11	11	12.7
	5	5	5	6	6	14	6.8
	6	2	4	6	4	4	4.1
	7	1	0	0	1	0	0.5
	8	0	1	1	2	3	1.2
	9	0	1	0	0	0	0.3
	10	0	0	0	0	0	0.0
	11	0	0	0	0	0	0.0
	12	0	0	0	0	0	0.0
累計		191	167	183	194	212	183.6

流域図及び総雨量 (7/9 13:00~7/11 12:00)



三春ダムの洪水体制確立及び経過

各観測所の最高水位

単位 (m)

生起年月・要因	地点	光大寺 (船引町)	赤沼 (郡山市)	阿久津 (郡山市)	本宮 (本宮町)	二本松 (二本松市)
昭和61年8月 台風10号	阿久津	4.30	4.25	8.75	8.48	11.31
平成10年8月 前 鋒	阿久津	3.98	2.59	8.42	8.38	11.31
平成14年7月 台風6号	阿久津	3.75	2.79	8.32	8.52	11.47

地点	阿久津 (郡山市)	本宮 (本宮町)	二本松 (二本松市)
基準水位			
計画高水位	8.650m	9.277m	13.129m
指定水位 (水防団準備態勢)	4.00m	4.00m	5.50m
警戒水位 (水防団出動態勢)	5.50m	5.00m	6.50m
危険水位 (水防団警戒態勢)	7.80m	7.70m	10.60m

三春ダムでは、今回の大雨により三春ダムへの流入量が100 m^3/s を越えたため、「流入量が100 m^3/s 以上となった際に100 m^3/s の一定放流とする洪水調節計画」に基づき、最大流入量250 m^3/s に対して150 m^3/s をカットする洪水調節を行いました。さらにその後も、下流部の阿武隈川阿久津地点の水位が危険水位を越えてさらに上昇中であり、重大な被害を生ずる恐れがあったことから、ダム貯留状況や今後の降雨予測等により総合的に判断し、特例として、一定時間ダムからの放流を行わない「全量カット」を実施し、阿武隈川の水位上昇を極力抑えました。

これらのダム操作により、阿武隈川阿久津地点の最高水位を約0.3m低下させることができた想定されます。

7月 9日 15:00頃から三春ダム流域において降雨確認

7月10日 5:10 大雨洪水注意報発表

13:00 洪水注意体制

13:10 大雨洪水警報発表

16:00 洪水警戒体制

23:12 流入量が100 m^3/s を越える (洪水調節開始)

7月11日 6:30 ただし書き操作 (全量カット) を開始

7:00 放流量を0 m^3/s とする

10:30 大雨洪水警報を解除、大雨注意報を発表、洪水警報は継続

11:30 洪水警戒体制の解除 (注意体制に切替)

14:52 洪水警報・大雨注意報を解除、洪水注意報を発表

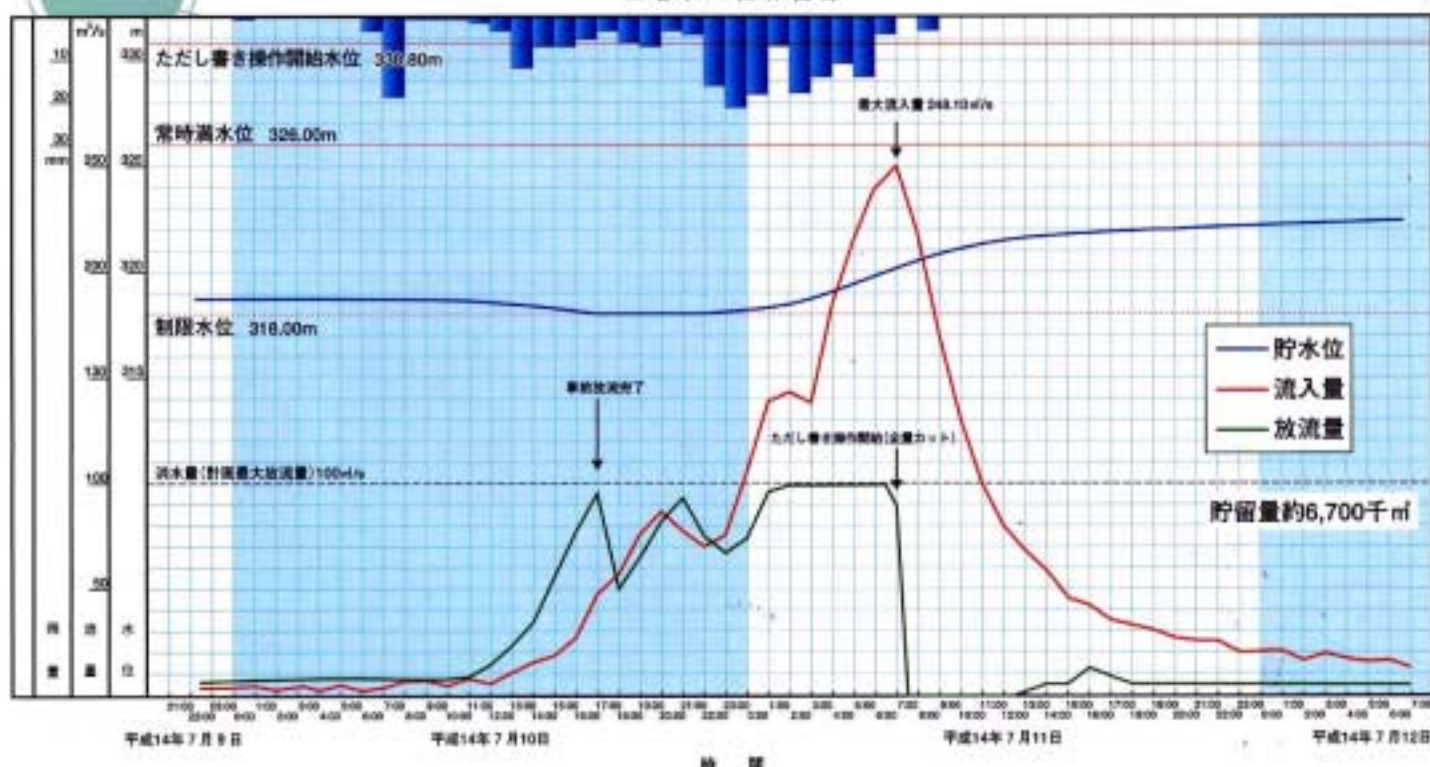
19:55 洪水注意報解除

7月12日 10:00 洪水注意体制解除

ただし書き操作 (全量カット) を終了

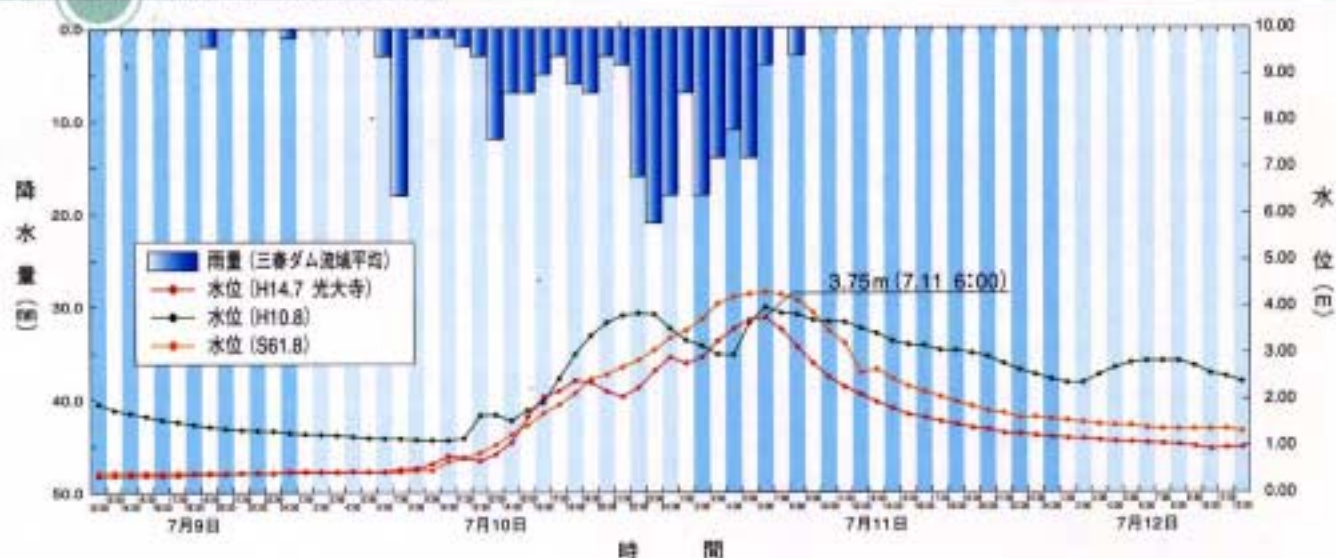
三春ダムの流入放流量

三春ダム操作記録

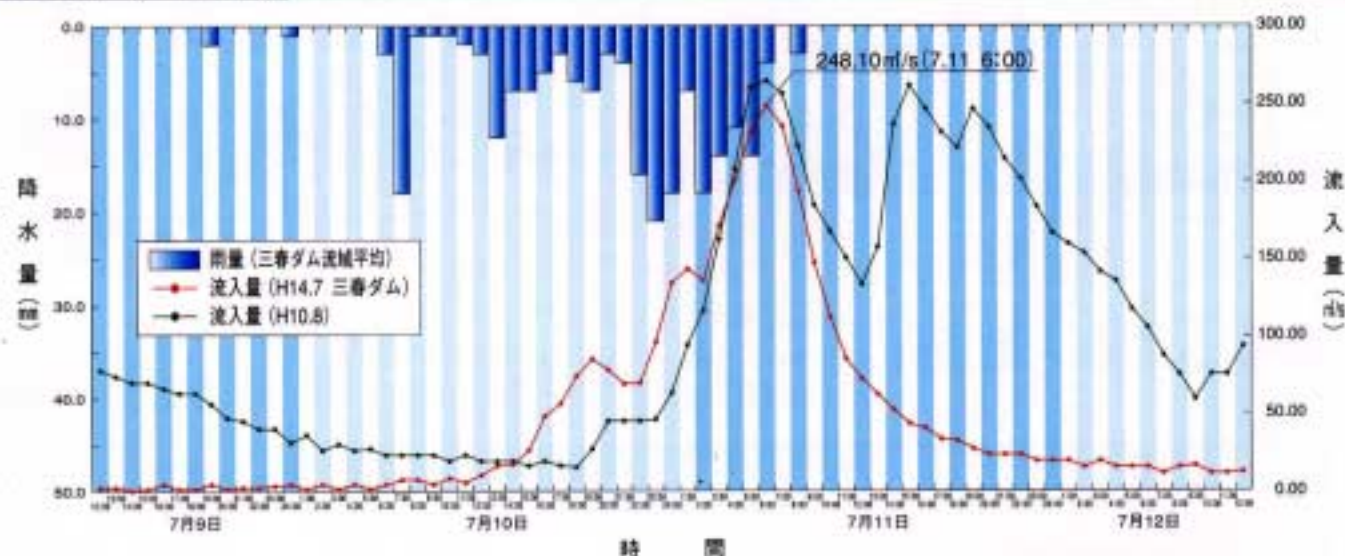


雨量及び水位・流入量の状況

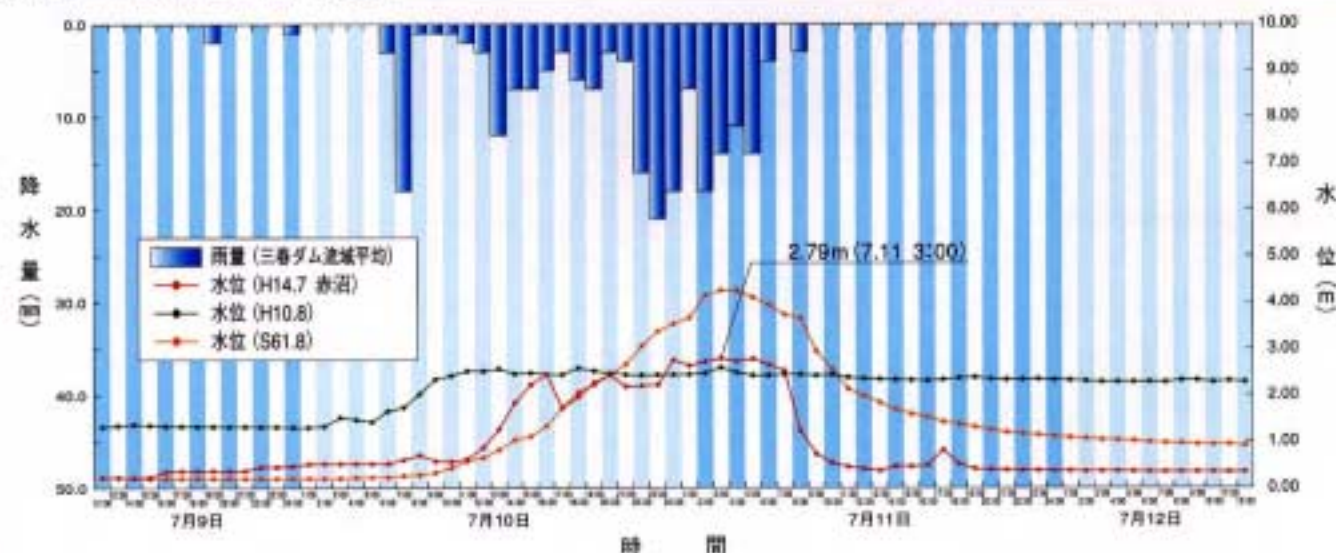
光大寺水位観測所（船引町）



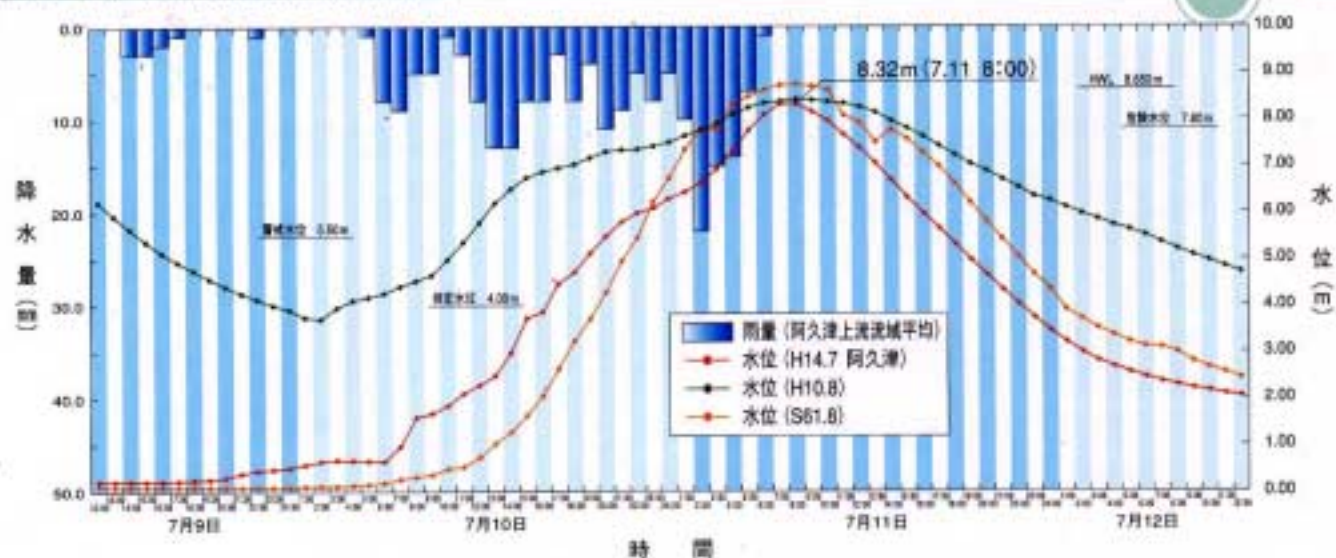
三春ダム（三春町）



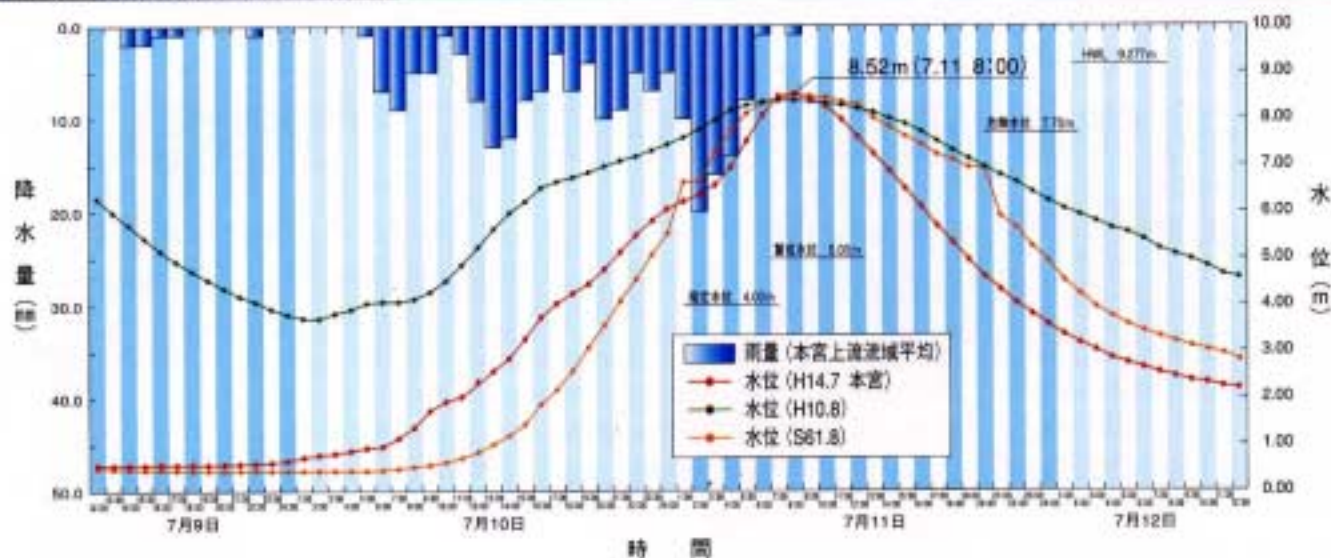
赤沼水位観測所（郡山市）



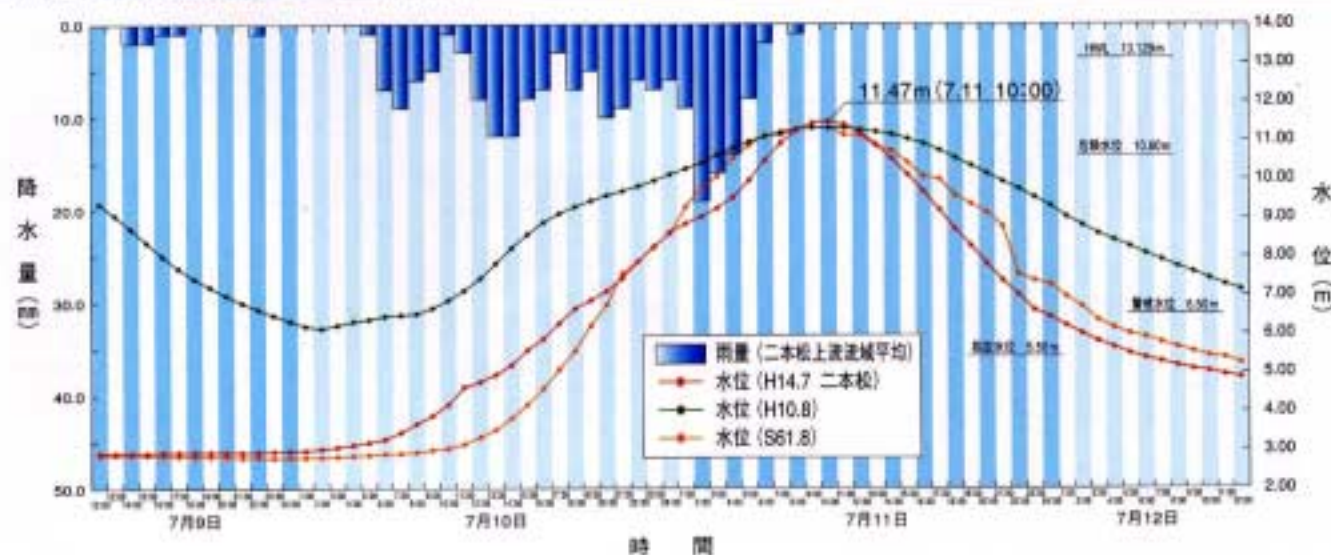
阿久津水位観測所 (郡山市)



本宮水位観測所 (本宮町)



二本松水位観測所 (二本松市)



洪水比較写真



郡山市 阿武隈川 安原橋付近（洪水時）7月11日8:30頃



郡山市 阿武隈川 安原橋付近（平常時）

関連新聞記事

道路、鉄道が寸断
 阿武隈川が氾濫し、郡山市内各地で家屋浸水、救助
 7万5千人避難指示、勧告
 台風6号
 大雨、県内につめ跡

阿武隈川が氾濫し、郡山市内各地で家屋浸水、救助
 7万5千人避難指示、勧告
 台風6号
 大雨、県内につめ跡

阿武隈川が氾濫し、郡山市内各地で家屋浸水、救助
 7万5千人避難指示、勧告
 台風6号
 大雨、県内につめ跡

阿武隈川が氾濫し、郡山市内各地で家屋浸水、救助
 7万5千人避難指示、勧告
 台風6号
 大雨、県内につめ跡

阿武隈川が氾濫し、郡山市内各地で家屋浸水、救助
 7万5千人避難指示、勧告
 台風6号
 大雨、県内につめ跡

台風6号

大雨、県内につめ跡

7万5千人避難指示、勧告



(福島民報 平成14年7月12日)

関連新聞記事

(福島民友 平成14年7月12日)

(福島民友 平成14年7月12日)

73,000人に避難指示



郡山、ボートで住民救助

懸命に懸命に書類運び出し



【福島県郡山市】台風6号の暴風雨で、郡山市の河川が氾濫し、多くの住民が避難指示を受けた。郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。

郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。

郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。郡山市消防局は、ボートを使って住民を救助した。また、多くの住民が書類を運び出した。

台風6号 県内にツメ跡



338棟が床上・下浸水

3人けが 交通網も寸断

【福島県】台風6号の暴風雨で、福島県内に大きな被害が出た。床上・下浸水の被害棟数は338棟に達した。また、3人がけがをした。交通網も寸断された。被害は、福島県内に広がった。床上・下浸水の被害棟数は338棟に達した。また、3人がけがをした。交通網も寸断された。

項目	数
床上・下浸水被害棟数	338棟
けが人数	3人
交通網寸断区間	〃

(福島民友 平成14年7月12日)

(朝日新聞 平成14年7月12日)

台風大暴れ 県内水浸し



土砂崩れ住宅倒壊

員「家がずれた」男性重傷

【福島県】台風6号の暴風雨で、福島県内に大きな被害が出た。土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。被害は、福島県内に広がった。土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。

土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。被害は、福島県内に広がった。土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。



土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。被害は、福島県内に広がった。土砂崩れで住宅が倒壊し、1人が重傷を負った。

取り残された夫婦 屋根の上でSOS

二本松 県警へり救助

【福島県二本松市】台風6号の暴風雨で、二本松市に大きな被害が出た。取り残された夫婦が屋根の上でSOSを出した。二本松市消防局は、県警へり救助した。取り残された夫婦が屋根の上でSOSを出した。

JR 遊木が運休

二本松 県警へり救助

【福島県二本松市】台風6号の暴風雨で、二本松市に大きな被害が出た。JR遊木線が運休された。二本松市消防局は、県警へり救助した。JR遊木線が運休された。



台風 各地につめ跡

7万3000人、避難指示

【福島県】台風6号の暴風雨で、福島県内に大きな被害が出た。7万3000人が避難指示を受けた。各地にツメ跡が残った。避難指示を受けた。各地にツメ跡が残った。

7万3000人が避難指示を受けた。各地にツメ跡が残った。避難指示を受けた。各地にツメ跡が残った。

(福島民友 平成14年7月11日)



台風6号 県内に大雨

厳重警戒、今朝に最接近



【福島県】台風6号の暴風雨で、福島県内に大雨が降った。厳重警戒が呼びかけられた。今朝に最接近した。大雨が降った。厳重警戒が呼びかけられた。

【記者発表資料】

平成14年7月11日

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

三春ダムの計画を超える洪水調節について

台風6号による洪水・貯蔵容量のさらなる軽減

台風6号の影響による降雨により阿武隈川の水位が上昇し、各地で危険水位を超過し、避難勧告が発せられるなどの状況にあります。

三春ダムにおいては、ダム貯蔵容量において、ダムからの放流量を最大100m³/sとすることで洪水調節を実施することとしていましたが、今年、上記の状況を受け緊急対策として、三春ダムによる洪水調節容量をさらに上げて阿武隈川阿久津地点の水位を確保するために、当面の間、ダム流入量を定めたのみ、ダムからは放流しない洪水調節（安全カット）を7月11日7時から行っております。

この方式により、阿武隈川阿久津地点で約2.5cm程度の高水位低下が認められています。

この方式は、平成14年9月の洪水時にも実施し効果を上げています。

問い合わせ先

国土交通省 三春ダム管理所 TEL 0247-62-3145
内 線 伊 藤 浩 典 (内線231)

【記者発表資料】

平成14年7月15日

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

三春ダムの洪水調節について

台風6号による洪水・貯蔵容量の軽減

台風6号の影響による降雨により阿武隈川の水位が上昇し、各地で危険水位を超過することなどから、三春ダムにおいては緊急としての洪水調節（安全カット）を実施しました。この件については7月11日に記者発表をいたしましたので、既にこの件のごことと想いますが、今回アークがまとまったので、あらためて当時の状況、三春ダムの洪水調節について発表するものです。

（内容の概略）

三春ダム地点の流入量は最大250m³/sを記録し、この時点で三春ダムは計画に達すべき100m³/sを超過して、100m³/sの洪水調節を行った。

さらにその後、下流部の阿武隈川阿久津地点（図1参照）の水位が危険水位を超過するに至り、最大危険水位を発生させたことから、ダム貯蔵容量を今年初の洪水調節よりさらに削減し、緊急として、一定時間ダムからは放流しない洪水調節（安全カット）を実施し、阿武隈川の水位上昇を抑制いたしました。

この方式により、三春ダム貯蔵容量と比較して、阿久津地点において約30cm程度の水位低下が認められました。

問い合わせ先

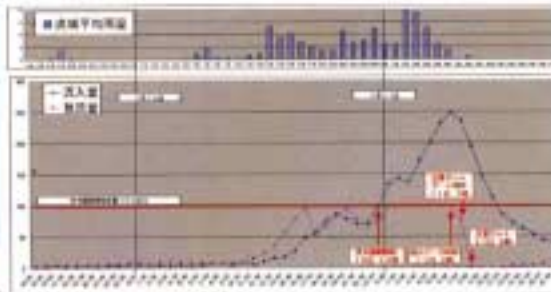
国土交通省 三春ダム管理所 TEL 0247-62-3145
内 線 伊 藤 浩 典 (内線231)

三春ダムの洪水調節効果（速報）

— 台風第6号に伴う洪水での評価 —

平成14年7月15日 東北地方整備局

今回の洪水は、台風6号の接近により東北地方に停滞していた梅雨前線が活発化したことから、福島県内でも7月10日の午前0時頃より雨が降り始め、10日の昼過ぎから夜遅くにかけて各地で20mm以上の瞬間雨量を伴う大雨となりました。さらに、10日夕方頃から翌11日未明にかけて、東北地方の太平洋側沿岸を北上してきた台風6号本体による激しい降雨となったため、栃木県境に位置する福島県西部村の真鍮雨量観測所では、降り始めからの総雨量が500mmを越えるなど、各地で記録的な豪雨となりました。
【三春ダム上流域における流域平均総雨量は184mm】



三春ダムでは、流入量が100m³/s以上となった際に100m³/sの一定放流とする洪水調節計画に基づき、ピーク流入量250m³/sに対して100m³/sの洪水調節を行っている。

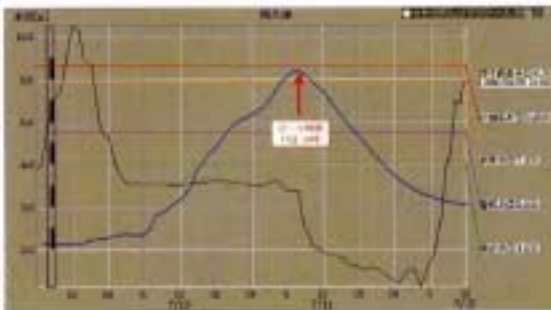
さらに、流入量ピークカット後も、下流部の阿武隈川阿久津地点（郡山市）の水位が危険水位を越えて、さらにより中であり重大な被害を及ぼす恐れがあったことから、ダム貯蔵容量を今年初の洪水調節よりさらに削減し、緊急として、一定時間ダムからの放流をしない「安全カット方式」を実施し、阿武隈川の水位上昇を極力抑えられた。

これらのダム操作により、阿武隈川阿久津地点（郡山市）のピーク水位を約0.30m低下させることができたことと想定されます。



（阿久津水位観測所）
実績最高水位：8.32m

※水位算定条件
阿久津地点の実績流量に三春ダムの調節量（流入量－放流量）を加えて、三春ダムがない場合の流量を想定し、水位低下量（約0.30m）を算定。



なお、三春ダムの洪水調節がなかった場合は、阿久津地点で計画最高水位（8.60m）程度の水位となり、非常に危険な状態になったものと推測されます。